



第20回 武蔵野はらっぱ祭り 開催のお知らせ!

武蔵野公園近隣の皆様方の温かいご支援をいただき、小金井市教育委員会からの後援を得て、第20回目となる「武蔵野はらっぱ祭り」を来る11月2日(日)に開催することとなりました。スタッフ一同、感謝の気持ちで一杯です！それと同時に、はらっぱ祭りが地域の誇りとなるような祭りとして定着、発展していけるよう尽力していきたいと思っています。願わくは、より一人でも多くの地域の皆様方にご参加頂き、楽しんでもらえる祭りにならんことを！

「第20回武蔵野はらっぱ祭り」(概要)

- ◎日 時 2008年11月2日(日)10時～19時(11月1日＝準備/11月3日＝片づけ)
- ◎会 場 都立武蔵野公園の一部(通称くじらやま周辺)
- ◎趣 旨 都内では数少ない貴重な「はらっぱ」の自然の中で集い、多様な表現を認め合い、尊重する。豊かな自然に感謝しながら、地域と協同し、参加者みんなでつくりあげる祭りをを目指す。
- ◎内 容 子ども広場(遊び場)/リサイクルバザー/市民文化活動ブース/映像インスタレーション
展示(絵画・写真・造形・表現など)/はらっぱ音楽会/
風の原市場(模擬店)/交流会

◎主な注意事項

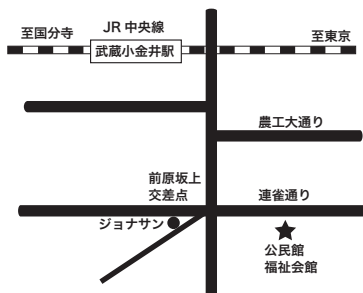
車でのご来場は一切できません/コップ・食器・箸などを持参お願いします
ゴミは各自で家までお持ち帰りください
太鼓を叩くなど、大きな音を出さないように気をつけましょう

「武蔵野はらっぱ祭り」ではスタッフを随時募集しています。

長く続くお祭りで「いまさら新しくスタッフになるのも……」と思っていないですか？
そんな心配は無用です！お祭りの日に何かやろうとして考えたり、こんなことがやってみたいと話し合ったり、広大なくじら山下原っぽで思う存分楽しみませんか。

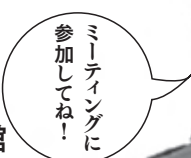
はらっぱ祭りは、実行委員会が創るお祭りではなく、参加者一人一人がその人なりの楽しみをクリエイトする場所なので、スタッフも他の人と同じように、お互いに協力し合うことによって、

各自の楽しみの輪を広げていきたいと思っています。スタッフミーティングは月に1回から2回程度、行なっています。くわしい情報はホームページ <http://the-harappa.net/> のトップページに告知してあるので、のぞいてみて下さい。



次回ミーティング

9月6日(土)
19時～22時
小金井市公民館本館
(福祉会館内)
生活室



はらっぱトピックス01 第三調整池は必要なのか？ 第1回 野川はまっすぐの川になった

はらっぱのすぐ横を流れる小さな川、野川。湧水や雨水が野川の水を支えている。

だから、水が涸れている時もあれば、ちよつとした沼のように溢れている時もある。

くじら山付近も野川が溢れた時のための調整池の候補地だ。

そんな野川のことを少し調べてみた。(文責＝ハラシマ)

ふだんの野川は、散歩をする人や川遊びをする子どもたちがたくさん。流れは穏やかで、アメンボや川エビ、カエルや鴨が優雅にくらしている。

その昔、野川は多摩川に寄り添うように流れ、農業用水・生活用水の源として、流域に生活する人たちにとって貴重な川だった。

やがて、1950年代に入り、都市型河川の整備が進む。蛇行した川はまっすぐになり、川底も一部コンクリートで固められた。川沿いには住宅が建ち、川沿いの道も整備され、今のように、近隣の人たちの憩いの場となったのだ。

野川は、雨が降ると水が増える。雨水が流れ込み、少し間をおいて、湧水が増えるからだ。

一方、近年の都市化によって地表

がアスファルトに覆われ、雨水が地下に浸透しにくくなった。また、集中豪雨で下水道が雨水を流しきれなくなつて野川に溢れだすこともある。それらが原因で川の水が瞬く間に増え、洪水のおそれも生じている。

その川の水をいっとき逃がすために計画されたのが、調整池だ。そして、計画の上では、くじら山付近も第三調整池の候補地なのだ。(続く)

協力＝平井正風さん
(小金井市(風の庵)店主)

はらっぱトピックス 03 出店者募集

はらっぱ祭りでは、出店者を募集しています。秋のはらっぱで、いろんな人たちと交流したいと思っているあなた。ぜひ、いちど出店してみませんか？

募集：飲食・物販・展示

* 飲食の上限価格は1品 500円です。

出店協賛金についてはお問い合わせください。

9/14と10/18に出店者会議がありますので、二回とも必ず出席をお願いします。

締め切り：2008年9月5日

問い合わせは下記まで

武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局

電話 042-387-7035

info@the-harappa.net

はらっぱトピックス 02 スタッフからのメッセージ

もう十何年も前、武蔵野公園近くに住む外国人の友人が言っていたこと。

「日本にいて、1年で一番ほっとするのがはらっぱ祭りだね」

そのつぶやきに、私も同感だ。

日本人でいることに息苦しさをいつも抱いていた私にとって、

はらっぱ祭りは唯一、自由な空気を味わえる瞬間だ。

日本人よ、損してないかい？ 人生楽しんでるかい？

もっと自由でいいんじゃないかい？

素直に味わおうぜい！ 楽しいは悪じゃないぜ！

だからってなんでもやればいいってことじゃないんだ。

自由を大切にすることとは、真剣に『祭りとは何か？』

と問いかね、議論する人たちがいて、守られてきた。

真剣に語り合ってきた結果だ。

議論することに怯えてないかい？ 世間を怖がってないかい？

熱くなるのは恥ずかしいことじゃない。

とても素敵なことなんだ。

はらっぱ祭りが好きだ、大切にしたい、

それにこだわってみないか。

はらっぱ祭りは誰かがやってくれるものではない。

大事にしたい、そういう思いの集まりなんだ。

(小金井市前原町・スタッフM)

はらっぱニュース 2008 Vol. 1 (通巻 10号)

2008年8月30日発行

発行・お問合せ先＝武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局

小金井市前原町 5-16-6 電話 042-387-7035

はらっぱ祭りホームページ＝<http://the-harappa.net/>